

創刊110周年記念

# 誇れるふるさと

## 24地区リレー

〈vol.21〉

### <厚東① 特徴>

厚東郷土史研究会の「厚東の歴史と伝承」(沖金吾著)によると、厚東という地名は長門国の厚狭郡東部に私郡として誕生した「厚東郡」に由来する。平安時代に移り住んだ豪族・厚東氏により、約400年にわたって栄えた歴史がある。

# 学童保育で多彩な教室、子育てに力



ひだまりのカルチャー教室で生け花に取り組む子どもたち(提供、2022年6月9日撮影)

## 県内初の見守り隊設立

厚東氏のルーツは、蘇我氏と並ぶ古代豪族だった物部氏。厚東郡の誕生は物部氏の子孫がこの地に移り住み、勢力を拡大したことが要因で、移住後に厚東氏と称するようになったと考えられている。隣国の大内氏に滅ぼされるまで、長門国随一の豪族として繁栄した。



### 基本データ

- 人口1594人 (20位)  
(男性743人、女性851人)
- 高齢化率 47.2%
- 小学校児童数69人
- ※世帯数などは2023年4月1日現在
- 面積24.25平方キロ (5位)
- 世帯数772世帯

地区内には厚東氏ゆかりの神社仏閣をはじめ、大名行列が通った「どん

だけ道」、幕末に人馬が通行しやすいよう整備された「千林石畳道」など、数多くの史跡が点在している。

これらと併せて住民の自慢となっているのが活発な地域づくり活動。その中核となっているのが厚東ネット(原野清正代表理事)で、厚東見守り隊、らぶ厚東、竹林、ひだまりの四つの事業部がある。

特に子育て支援に力を入れており、2003年に県内初となる見守り隊を設立。竹林は子どもたちに竹細工を指導したり、そつめん流しやタケノコ掘りといったイベントを企画したりしてい

る。

ひだまりは厚東小の学童保育・子ども教室で、ほぼすべての児童が利用。老人会が指導する華道や茶道、囲碁、卓球などのカルチャー教室をはじめ、学童保育のイメージを塗り替えるユニークな取り組みを展開してきた。05年度には、文部科学省第1回放課後子ども教室推進表彰を受賞するなど、全国的に高い評価を受けた。

原野代表理事(72)は「子どもたちを中心に地域づくりが進められており、学校との連携が日本一うまくいっている地区だと思つ」と自負する。